



東洋英和こころの相談室では、皆様により親しみやすく感じていただけるよう、『相談室便り』を季刊で発行しております。

地域に開かれた相談室として活動しております。何かお困りのことがございましたら、お気軽にご相談下さい。

こころの相談室ってどんな場所？

東洋英和こころの相談室は、東洋英和女学院大学大学院地下 2 階に開室しています。

*どんな相談を受けているの？

こころの相談室では、さまざまな相談内容に関して心理的援助を行います。

子どもの問題

不登校、いじめの問題、
ひきこもり、家庭内暴力、チック、
抜毛、自閉傾向や発達の遅れなど。

さまざまな心の問題

不安、抑うつ、対人緊張、性格の悩み、
拒食・過食や脱毛など。

ライフサイクルに関して

思春期青年期の危機、結婚の問題、
中年期や老いの問題など。

対人関係について

夫婦や親子関係の問題、職場での困難など。

心理アセスメント

自己理解あるいは診断的補助としての
知能検査、性格検査、発達検査など。



◎ 相談内容によっては、当相談室でお引き受けできないことがあります。その際には適切な機関をご紹介します。

*どんな人が相談を受けてくれるの？

- ・初回面接は、臨床心理士の資格を持ったものが担当します。
- ・当相談室は、大学院生の研修機関を兼ねています。継続相談は、教授陣・専門家等の指導の下、臨床心理学の専門的訓練を受けた大学院生・修了生等が担当します。

*どんな方法で面接をするの？

ことばによる面接、ユング分析心理学的な心理療法、箱庭療法、プレイセラピー、心理アセスメントを行います。



*申込はどうすればいいの？

相談は完全予約制です。お電話でお申し込み下さい。

こころの相談室についての詳しい情報は、ホームページでもご覧いただけます

<http://www.toyoeiwa.ac.jp/daigakuin/index.html>

スタッフ紹介 ～ 前川美行先生 ～

～ 4月より、前川美行准教授（臨床心理士）をお迎えしました ～

初めて「こころの相談室」を訪問したある日のこと。「都営大江戸線」というちょっととぼけた名前の地下鉄を降り、麻布十番駅を出てしばらく行くと急な坂がありました。「鳥居坂」と書いてありましたが、地図を手にした私はあまりの急さに「そんなはずはない」と通り過ぎ、次なる坂を探しました。が、ほかに「鳥居坂」は見当たらず…。やっぱりあれが「鳥居坂」。あきらめて引き返し息を切らして登りきると、息が整わぬ間に明治を思わせるような建築様式の校舎に着きました。正面の切り絵模様のドアから入り地下2階に下りますと、そこが「こころの相談室」。初めて歩いた夕暮れの道はまるで夢の中のようなようでした。

ところで私は、来談された方から夢をお聞きすることがあります。人は夢の中で「急な坂道を登ったり」、「地下に降りて」「意外なものに出会ったり」しているようです。坂を登って見える景色はどんなものでしょう。地下に降りて私たちは何に出会うのでしょうか。財宝？眠るお姫様？それとも怪物？はたまた、地下の湖？・・・

相談室は地下なのに太陽の光が差し込む不思議な設計で、上から覗いてみたい気持ちになります。ここには、いろいろな思いが吐き出され、大きな荷物が置いていかれます。私は、人の吐息を含んだその空気に触れると心が落ち着きます。「こんにちは、前川です。これからどうぞよろしく」・・・そっと、壁や床に挨拶をして相談室に入りました。

どうぞよろしくをお願いします。



発行 東洋英和こころの相談室 Tel 03-3583-7463

開室時間 月～金曜日 午後2時～午後8時 木曜日 午後1時～午後8時

土曜日 午前9時～午後6時 休室 日曜日・祝日